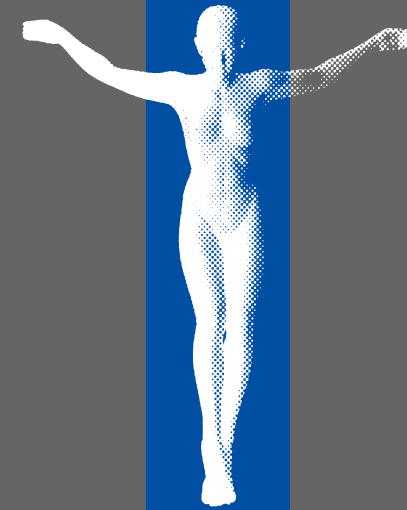


Space Impression  
Event Report



# Space + Impression

This event is the collaboration  
of the flower artist Yuko Akiya, who has various  
expression using artificial flowers,  
and Tatuya Ishii, who is an artist who is playing arts in various field.  
This event aims to stimulus your more beautiful lifestyle by  
exploring the world of creativity.

【開催概要】

Space Impression

Tatuya Ishii  Yuko Akiya

日時：2009年5月30日（土）、31日（日）  
プレスパーティー 2009年5月29日（金）

会場：MODAPOLITICA  
東京都港区南青山 6-6-21  
www.modapolitica.com

主催・運営：株式会社 美研インターナショナル  
ROSALBA「Space Impression」事務局  
〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-7-7 住友不動産青葉台ヒルズ 1F  
TEL：03-5790-5750（代表） FAX：03-5790-5749  
協力・協賛：Craftratorina、sixinchJAPAN、大和ステンレス工業株式会社  
広報：有限会社アネティ  
写真：井出友樹

Tatuya Ishii  Yuko Akiya

30.May.2009-31.May.2009  
Press Party:29.May.2009





## 融合するふたつの才能 新しい表現の世界観に浸る

2009年5月30、31日の両日に渡って、東京・南青山のMODAPOLITICAにおいて開催されたアートイベント「Space Impression」。音楽や映画など、多方面で活躍するアーティスト・石井竜也さんと、花を通してさまざまな世界観を構築するフラワーアーティスト・秋谷祐子さんという、ジャンルも経歴も異なるふたりの才能が融合し、オブジェとフラワーのコラボレーションを見事に完成させました。多くの方々から贈られた花が華やかさを演出する玄関を入ると、まず目に入るように設置された秋谷さんの「男と女」と石井さんの「LEGEND OF NIGHT SKY」というふたつの作品が、来場者を迎えてくれました。イベントのロゴデザインにも使われた石井さんの「MUSE」は、秋谷さんの「Holy Water」とコラボレーション。荘厳な雰囲気を出している石井さんの彫刻とともに、もはやアートの領域にまで達した秋谷さんのフラワーが並んで展示され、メッセージ性の強い作品同士の共演に、会場を訪れた観客のみなさんは息を呑むように作品を鑑賞していました。



①会場の中央に配置された「MUSE」(石井)と「Holy Water」(秋谷)。天井から吊るされた「MUSE」は、抑圧を受けてきた女性の悲しみを表現したものだとか。「Holy Water」の水は、アクリルファイバーで表現。②「OJIG」(石井)と「Neo Japanesque」(秋谷)。ステンレスの光沢とともに、プリザーブドドライフとアーティフィシャルフラワーが彩りを添えていました。③「至福の時」(秋谷)は、sixinchJAPANのソファとともに。サイドに置かれた「TONE」(石井)との相性も抜群。④「文明・翔べなかった者」(石井)と「Heat Islands」(秋谷)のコラボレーション。⑤会場入口の正面に展示された、「LEGEND OF NIGHT SKY～夜空の伝説」(石井)と「男と女」(秋谷)は、多くの入場者がそのインパクトの強さに感嘆の声をあげていました。





## 来場者を感動に包み込む 溢れ出すアーティストの想い

会期前日の2009年5月29日には、報道や各企業の広報関係者、そして抽選で選ばれたROSALBA読者を招いて、招待制のプレスパーティーが開催されました。

開場と同時に、秋谷さんのレッスンを受けたことのある生徒さん、石井さんのファンなど、多くの方が来場され、なかには秋谷さんの地元でもある札幌からお越しいただいた方も。会場は、パーティーが始まる頃には、訪れた人々で埋め尽くされ、作品に触れてしまいそうになるくらいの盛況ぶりでした。

パーティーは石井さん、秋谷さん、東京藝術大学准教授の布施英利さんの挨拶（P5-6参照）から始まり、フィンガーフードとドリンクのほか、東京・中目黒の野菜スイーツ専門店「パティスリーポタジエ」から5種類のスイーツが来場者にふるまわれました。

場所を変え、作品の前で行なわれたインタビューでは、新聞、雑誌、Webなど多種多様な媒体からの質問に、石井さん、秋谷さんとともに、丁寧に作品の制作秘話などを中心に思いを語ってくれました。

①有名ブランドや企業の広報の方も数多くご来場いただきました。②会場でふるまわれたフィンガーフード。③秋谷さんを囲んでの1枚。パーティーにふさわしい華やかな光景。④パーティーの開始前から多くの方が訪れ、コラボレーションをした作品たちを中心に、熱心に鑑賞する姿が目立ちました。⑤パーティーの開始が告げられると、来場者のみなさんは作品を囲むように集まり、挨拶に耳を傾けていました。⑥作品に見入る来場者。コラボレーション作品は、多くの方が記念撮影を行っていました。⑦女性を中心とする幅広い年齢層で、フラワーとアートに興味を持つ感性の高い方が来場されました。⑧「パティスリーポタジエ」の野菜スイーツ。「グリーンショートマト」、「ゴボーショコラ」、「キャロットチョコフラン」、「カリフラワーのティラミス」、「ベジロールマト」の計5種が会場で提供されました。





## 石井竜也 (アーティスト) 自分の世界観の変化を楽しむ

僕はこれまで、歌やアートなど、いろんな活動をしてきました。制作にあたってはイメージが先行することが多く、作品を創り上げていくのですが、自分の頭のなかにあるものを、端的に表現できるのが、やっぱりアートだと思います。そして、アートは、レボリューションであったり、破壊するということと密接に関係しています。そういう意味でも、何か新しい分野、自分の知らなかった分野とのコラボレーションは、大変刺激的です。今回の Space Impression では、自分の作品がフラワーというコラボレーションをして、意外と合うことに驚きました。自分の作品が秋谷さんとの共演でどのように変化し、観ていただいた方にどのように受け止められるかを楽しみにしています。

Profile  
1985年米米 CLUB としてデビュー。楽曲の作詞・作曲、ステージセット、コスチュームなど総合的にプロデュースする。多くのヒット曲をリリースするかわら、映画監督、造形アーティストとしても活動の場を広げる。 [www.t-stone.com](http://www.t-stone.com)



## 秋谷祐子 (フラワーアーティスト) アートとフラワーの接点を表現

2009年 は私にとって変革の年でした。今回、このように石井竜也さんとの作品展が開催できたことは光栄です。制作にご協力していただいた方に、この場を借りて、心からお礼を申し上げます。いつの時代も花は美しく、人は花に癒されるものです。私は、異素材を使うことでアートと花の接点を表現しました。フラワーというジャンルにとらわれないアート性の高いものを作り、企業のニーズにマッチしたデザインを考え、それらを形にしていく活動を通して、何らかの形で社会貢献ができればと思っています。作品から、従来のフラワーの概念を越えた、新しい風を感じていただければこれに勝る喜びはありません。

Profile  
小原流家元教授。札幌で『GALLERY impression』を主宰。花をアートとして見せるべく、独自の世界観を追求している。  
[www.g-impression.com](http://www.g-impression.com)



## 布施英利 (東京藝術大学准教授) 瞬間の芸術から生まれる躍動感

秋谷祐子さんのフラワー作品を見て思い出したのが、能を大成した世阿弥の「秘すれば花」という言葉です。世阿弥は大切なものを隠すことで花になると説きましたが、あえてその言葉を誤解してとらえ、「秘」は秘密、秘めごとという意味を持ち、秋谷さんの作品のなかに秘められた花の官能性を指しているのではないかと思ったのです。石井さんは音楽で世に出て、秋谷さんは生け花で認められました。おふたりに共通するのは、ともに瞬間の芸術を極められたということ。そして、そのなかで美を追求し続けてこられたと思います。今回、その美意識は形を変えて、石井さんはオブジェに、秋谷さんはアート性の高いフラワーという形で表現されました。生け花とライブという、瞬間を止めて表現する芸術は、生につながります。この展覧会で、作品に出会った人は作品が持つ躍動感、生命感に驚くことでしょう。